

世界インターアクト週間にあたって

インターアクト委員会 委員長

松井隆雄 (大阪天王寺RC)



11月が「世界インターアクト週間」であることをご存じのロータリアンが当地区に何人おられるでしょう。

R Iの常設プログラムではありますが、当地区には現在インターアクト提唱ロータリークラブは6クラブしかありません。すべてのクラブと地区は青少年の基本的ニーズである健康・人間の価値・教育・自己開発を支援するためのプロジェクトに着手するよう奨励されています。インターアクトは自己開発のプログラムであります。

インターアクターは世界中の109ヶ国地域に10,700以上のクラブに所属する約20万人がいます。

1962年11月5日アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により、メルボルン高校に世界最初のインターアクトクラブが結成されました。その創立記念日を祝い、11月5日の週を「世界インターアクト週間」と指定されました。この週はインターアクトクラブの地域社会への貢献を多くの人々に知ってもらおう機会にしたいと期待されています。

日本最初のインターアクトクラブは1963年6月27日に宮城県の仙台東ロータリークラブの提唱で仙台育英学園高校インターアクトクラブが結成されました。現在日本には約537クラブに約15,000人のインターアクターが所属しております。

当地区のインターアクトクラブは学校を基盤として学校の規律と方針に従い課外活動の一環として運営されています。

インターアクトクラブは奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神をもちともに活動する機会を提供することです。そして少なくとも毎年2つの社会奉仕のプロジェクトを行い、そのうち1つは国際理解と親善を推進するものでなければならないとロータリー章典に定められています。

当地区のインターアクトクラブは大阪桐蔭(提唱クラブ:大東RC)、浪速(大阪帝塚山RC)、金光八尾(八尾RC)、四天王寺(大阪天王寺RC)、清風(大阪南RC)、相愛学園(大阪RC)の6校がそれぞれ地域の奉仕活動をしております。

6校のインターアクトクラブが合同で行うプログラムは海外研修、年次大会、新入生歓迎会と機関紙SCRUMUの発行があります。本年の海外研修は8月4日～8日まで現地3泊5日の行程でR I第3350地区タイ・バンコクを訪問しました。

参加者は6校のインターアクター 30名、顧問の先生7名、ロータリアン13名、ガバナー事務所事務局長、看護師、合計52名でした。タイ・バンコクのシビリヨンハイスクールで熱烈的な歓迎を受け、同校インターアクターとの交流会で第3350地区のロータリアンを交え、国際交流・国際親善を図ることができました。

今年度のインターアクト年次大会は、四天王寺高校・中学インターアクトクラブが担当し、11月23日(土) 勤労感謝の日に開催予定です。